

評価シート（年度評価）

名古屋能楽堂の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋能楽堂の管理		
評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月	指定管理期間	令和7年4月～令和12年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	○	スタンプラリーへの参加や施設見学実施など施設特性を活かした多様な来客層へのアプローチが行われた。
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	◎	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・PRの実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
施設の認知度向上に向け、観光関連のスタンプラリーへの参加や多言語解説の充実、SNSを活用した情報発信等に取り組み、多様な来館者層への訴求を図っている点が評価できる。また、新規事業として日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院（中村日赤）でのアウトリーチを実施し、文化施設に来館しにくい方にも文化芸術に触れる機会を提供した点は意義が大きい。今後も、施設の発信強化と、アウトリーチによる文化芸術機会の拡充に資する取組の継続を期待したい。

施設の現状

能楽堂

施設の現状	施設概要							
	能楽その他の伝統芸能の振興を図るとともに、文化活動及び観光の推進に寄与するために設置された施設です。具体的には、舞台等施設の貸出や、能楽の定例公演の開催、展示室の運営等を行っています。							
	市の収支状況(千円)（7年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	164,161	0	164,161	106	8,350	155,705	164,161	51,801
	特記事項							

管理運営指標の状況	取組状況					
	指標	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	利用率(舞台)	%	68.6	70.1	75.5	68.0
	収支率	%	39.3	44.6	27.2	31.6
	特記事項					

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載